

関係者の皆様へ

## 新型コロナウイルス感染者発生に関するお知らせ（第6報）

平素より当施設へのご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当施設では、1月15日より通所リハビリテーションを休業させていただいているところですが、入所棟でも陽性者が発生し、現在施設全体で感染対策のBCP（業務継続計画）の体制を執っているところです。1月17日以降の経過は以下の通りです。

- 1月17日 入所者1名 抗原陽性。同日夜、重点医療機関に転院。
- 同日 当該フロアの入所者様26名及び職員28名、計54名のPCR検査、入所者様16名の抗原検査を実施。翌1月18日に入所者様3名の「陽性」が判明
- 1月18日 沖縄県新型コロナウイルス対策本部から支援チームが入り、その助言指導の下、感染拡大防止策を実施。
- 同日 保健所の指導で、前日に抗原検査を行った12名を対象に行政検査（PCR）を実施。「全員陰性」を確認。  
通所リハビリテーション職員1名の「陽性」が判明
- 同日夜 同フロア入所者様2名、抗原検査「陽性」判明（17日の検査実施者）。
- 1月19日 同フロア入所者様3名、抗原検査「陽性」判明（17日の検査実施者）。
- 同日 同フロア職員3名の「陽性」が判明
- 1月20日 全職員対象に定期PCR検査を実施。職員3名の「陽性」が判明
- 1月21日 同フロアで入所者様1名、抗原検査「陽性」判明。

以上、本日までに入所者様10名と職員9名に感染が判明しております。

1月13日以降、毎週複数回、職員及び利用者様を対象にPCR検査、もしくは抗原検査を実施し感染状況を確認して参りましたが、PCR検査結果が陰性でも、検査翌日に発症するケースもあり、想定外の感染拡大となっています。

現在、沖縄県新型コロナウイルス対策本部や中部保健所の助言・指導を仰ぎながら、懸命に感染拡大防止に取り組んでおりますが、まずは、感染収束に向けて注力し、当面、入退所ならびにショートステイの利用を停止させていただきます。

また、休止している通所リハビリテーションやリハビリの職員も入所フロアの応援業務に入るなど、施設全体で入所フロアの利用者のケアを行っているため、通所リハビリテーションの再開時期についても、入所の感染状況を踏まえて、改めてお知らせして参ります。

皆様には、ご心配とご迷惑をお掛けしておりますが、全職員一丸となって、感染拡大防止及び感染収束に取り組んで参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和4年1月21日

医療法人だいわ会  
介護老人保健施設いしかわ願寿ぬ森  
施設長 小橋川 悟